

# 部会・委員会報告

〈医用画像システム部会〉

## DICOM WG6 2011/4/4～8 Pisa, Italy 参加報告



モニタ診断システム委員会 WG4 石川 嘉洋 (富士フイルム (株))  
モニタ診断システム委員会 WG4 神崎 昌俊 ((株) リアルビジョン)

### 1. はじめに

DICOM WG6 が2011年4月4日から8日までの1週間イタリアのピサで開催され、JIRA モニタ診断システム委員会 WG4 の代表として参加したので報告する。

### 2. DICOM WG6

DICOM WG6 は、他の WG から提案された修正提案 (Correction Proposals) や規格の拡張 (Supplements) について審議し DICOM 規格全体の一貫性を保ちながら DICOM 規格のメンテナンスをするための Working Group である。今回はモニタ診断システム委員会でドラフトを作成したサプリメント124 (Communication of Display Parameters) の審議を行なうために会議に参加した。

WG6 の会議は通常2ヶ月に1度アメリカ・バージニア州の NEMA で開催されるが、年に1回程度各国持ち回りで、アメリカ以外の国で開催される。今回はイタリアのピサでの開催となった。

会議は4月4日から8日までの5日間行なわれ、そのうちの4月5・6・7日の各2時間がサプリメント124の審議に割り当てられた。

### 3. サプリメント124

サプリメント124は2004年に DICOM WG11が DICOM Standard Committee に Work Item Request を提案して承認された。JIRA では、モニタ診断システム委員会 WG4 でドラフトの作成を行なってきた。このサプリメントが規格化されることによってモニタのパラメータ (輝度、解像度、ガンマ特性など) の取得や遠隔キャリブレーションが DICOM 標準のプロトコルで行なえるようになるため、マルチベンダの環境でモニタの一括管理をすることが出来るようになる。また画像表示ソフトがモニタの状態を取得して、最適な画像表示を行なうことができるようになる。

### 4. 審議内容

サプリメント124は2009年1月に前回の審議が行なわれてから、諸事情により2年以上審議が中断されていたため、冒頭でサプリメントの目的や全体の構成について確認を

行なった後詳細な審議を開始した。

サプリメント124の策定の初期から協力していただいた Kevin O'Donnell 氏、Robert Horn 氏、David Clunie 氏を中心に非常に活発な議論が行なわれ、ドキュメントの細部に至るまでレビューが行なわれた。

残念ながら120ページを超える文章を、6時間の間に全てカバーすることはできなかった。また、各 IOD に入るパラメータの配置などについて比較的大幅な修正の要求があり、会議の期間中に全ての修正を行なうことができなかつたため、持ち帰って修正を行ない再審議することとなった。

今回の WG6 参加の目標は、JIRA で用意したドラフトをパブリックコメントとして採択してもらうことであったが、残念ながらパブリックコメントに至ることはできなかった。しかし今回の審議でドキュメントの完成度は飛躍的に向上しているため、指摘された修正を行ない8月の WG6 会議でパブリックコメントに採択されることを目指したい。



図 ピサの斜塔